

会員各位

【公益社団法人日本農業法人協会】

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

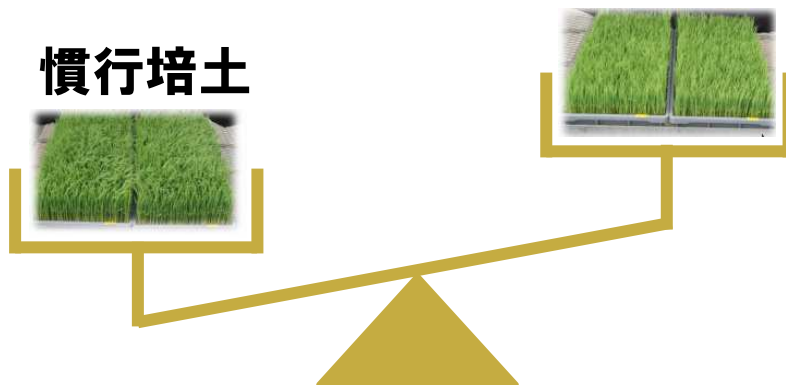
このたび、〔株〕クラレ様の依頼を受け、有料情報提供サービスにて「水稻育苗資材（保水材、開発品）についてのアンケート」を送付（情報提供）致します。回答・お問い合わせ等は下記の窓口担当までご連絡ください。

〔株〕クラレ 中村 様 E-mail: eiji.nakamura@kuraray.com FAX: 03-6701-1209 Tel: 03-6701-1295

育苗箱を半分まで軽量化

保水材

慣行培土



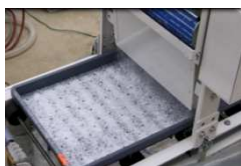
新技術のポイント



培土 保水材

床土2kgを
保水材30gで置き換え

播種機作業



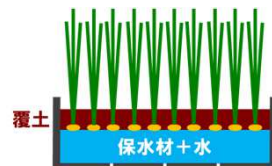
保水材散布
施薬ホッパー使用



灌水
吸水して固化



播種



覆土後の模式図

メリット



育苗箱を半分まで軽量化
播種/田植作業が省力化



播種後は慣行と同じ作業でOK
コメの収量・品質は同等



フレコン不要で安全・省スペース
1袋10kgで床土約300枚分



品質が安定
土や副原料を含まない

ご回答頂いた方には先着50名さまにプレゼントをお送りさせていただきます

水稻育苗資材（保水材、開発品）についてのアンケート

県名 (住所)	
法人名	
連絡先	Tel : e-mail :

プレゼントご希望の方は住所の記載をお願い致します

回答希望期限 7月3日



↑育苗箱は片手で楽々持てます

←培土の重量を**98%**削減

Q1：水稻の作付面積

_____ 町 (ha)

栽培方法は？ 慣行 ha、疎植 ha、高密度 ha、直播 ha

Q2：保水材を育苗箱に入れて灌水することで床土の代わりになり、以降は慣行と同じ播種作業が行えます（全て播種機での作業が可能です）。**保水材**は箱当たり約30gと少量ですむため、育苗箱の重さは約半分になります。この**保水材**にどんな魅力を感じますか？（複数回答可）

記入欄：

①作業負荷が低減すること



②床土のフレコン吊り上げ作業がなくなる



③保管スペースが少なくすむこと



④播種の作業員を削減できること



⑤田植の作業員を削減できること



⑥品質が安定していること



⑦省力化でコストが削減できること



⑧その他（

）

Q3：保水材に対する心配ごとは何ですか？（複数回答可）

記入欄：

①苗の生育



②軽量化による田植機上での苗滑り性



③プール育苗への適性



④安全性・水田への影響性



⑤その他（

）

Q4：上記の心配ごとが解決したなら、保水材を使ってみたいですか？

記入欄：

①価格が慣行培土と同じなら使ってみたい



②軽量化できるなら

多少高くても使ってみたい



③使ってみたくない
(理由：



回答先：(株) クラレ 中村 eiji.nakamura@kuraray.com または FAX：03-6701-1299